

松戸市長
本郷谷 健次 様

2013年10月21日

日本共産党松戸市災害対策本部
日本共産党松戸市議会議員団

台風26号による被災者支援・復旧と 台風27号など今後に対する防災強化についての緊急申し入れ

16日未明からの台風26号による被災地域のみなさんに心からのお見舞いを申し上げます。床上95件床下178件道路冠水189件トイレ下水の詰まり174件(市からの情報18日13:53段階)という深刻な被害に胸が痛みます。救援復旧活動にあたる市職員をはじめ、関係事業者などのみなさんの昼夜分かたぬご奮闘に心から敬意を表します。

日本共産党松戸市災害対策本部と松戸市議団も、この間連日お見舞いと調査、要望聞きとり活動等をしてきました。19日の緊急申し入れに応じて、市が早速、大型ゴミの無料回収を実施して頂いたことは多くの市民から喜ばれております。有難うございます。しかしながら今週後半には、再び強い台風27号が接近しており、被災地域では、「体力限界、また水が出たら・・・」と悲痛な訴えが寄せられています。被災者への支援と併せて、今後の防災・救援対策の改善強化については万全を期して頂きたく、以下次のとおり申し入れます。

記

1. 衛生体制の一層の強化に努めること。日暮地域では19日の段階でも「市から消毒はいつになるかわからないと言われた」等の訴えがあり改善は急務である。緊急に実施し体制を強化すること。
2. 緊急の総合相談窓口を設置すること。罹災証明の手続き等については知らない方も多く、市の責任で迅速かつ丁寧にお知らせすること。床上浸水の見舞金(単身世帯1万円複数世帯3万円)の引き上げや、緊急の生活支援金等の給付を検討するなど、住宅および生活再建のため、市として独自の支援措置を講じること。
3. 被災者(とりわけ高齢者、障害者、独居老人、子育て世代等)への訪問活動を引き続きおこない、命と健康を守るための積極的な支援を講じること。
4. 床上・床下浸水による家電や畳・家具などの粗大ごみの収集は、震災救援の一環として、無料で直接、市が収集する特別の体制を継続すること。
5. 馬橋地区等では、畑の浸水により、来年に向けて撒いた種がダメになる等の被害が起きており、商店や工場などでも営業や事業に支障をきたす被害が出ている。調査し必要な支援や対策を講じること。
6. 近年の短時間集中型の大雨に備えて、雨水による被害を最小限にとどめるための対策を、関係機関との連携協力で実施できるよう体制を強化すること。とりわけ、台風27号に備えては、台風26号のときの教訓を生かして、今回水害が出たところを中心に市内全域にわたり、事前に万全の防災・救援対策を講じること。
この点に関連して、さらに以下の項目で、具体的に要望致します。

①台風 26 号の被害が甚大になったことについて

徹底的に検証を行い、市民に公開すること。とりわけ坂川、春木川、前田川水域付近等の被害は甚大であることから、今後、被害を最小限度に食い止めるための対策を明らかにし緊急に実施すること。関連して、「県によると 16 日朝、台風 26 号による大雨で、江戸川流域の市町村の下水を処理する市川ポンプ場が水没し、松戸市と流山の一部でトイレや台所の排水が流れにくい状態になった・・・」との情報について、市民からも質問が寄せられているので、ご説明を願いたい。

②防災無線について

「遅かった」「聞こえなかった」「すぐに終わった」等の苦情が寄せられている。市民によく聞き、防災無線の活用については、緊急に改善すること。日頃から水害が出そうな地域については、早い段階から、市や消防職員等によるみまわり隊や救援隊を派遣して頂くこと。

③24 時間対応の松戸市危機管理課について

職員のご苦勞に敬意を表するが、せっかくの体制なのに電話番号も、知らない方も多く、今後周知徹底をはかること。また、「つながらない」と苦情が続いていたことから、人員などの体制を充実すること。更に見舞金や生活保護世帯に対する災害時の対応など福祉面もふくめ、市民からの多様な要望に応えられるようにすること。

④土嚢について

被害を最小限度に食い止めるため、水が出る前の防災対策に万全を尽くすこと。ある市では、事前に水害が出そうな地域のお宅に、市が運び事後も回収と聞いたが松戸市にはそういう制度はないため検討すること。とりわけ、独居や障害者、高齢者の土嚢対応には、配慮すること。

⑤防災協定について

松戸市が協定を結んでいる団体や事業者との連携はどうであったのかを検証し改善をすること。今回、千葉土建組合松戸支部は、協定にもとづく市からの出動要請を求めたが、それでも何も連絡がなかったとのこと。何故なのか。

私たちがお願いした、建設職人さんによるボランティアは大変歓迎された。行政と共に、被害を最小限に食い止め、防災、救援、復旧に、大きな力を発揮して下さる協力団体や事業所に依頼するのは、市民のためを思えば当然のことであり、今後ただちに改善をして頂くこと。

⑥避難場所やトイレ等の確保、食料品や毛布ふとんの支援体制について

今回の活用についてご説明願いたい。私たちはボランティアでおにぎりや炊き出しなどを一部実施したが、日常的に市が備えている資材の活用などはどうであったのかを検証し、市民の協力も得ながら、今後活かすこと。

⑦被災地域での相談会について

要望があれば、市が地域に出向いて、支援策や浸水対策等について、市民の要望をききながら、丁寧に説明し対応すること。

以上

日本共産党・松戸市災害対策本部
日本共産党・松戸市議会議員団

台風 26 号による大雨被害による 被災者支援・復旧についての緊急申し入れ

16 日未明からの大雨による被災地域のみなさんに心からのお見舞いを申し上げます。また被災者支援活動や復旧作業にあたる市職員をはじめ、関係事業者などのみなさんの昼夜分かたぬご奮闘に心から敬意を表します。

私たち、日本共産党・松戸災害対策本部と松戸市議団も支援のために、市内の床上・床下浸水・道路冠水など、被災地のお見舞いと調査、要望を聞きとることをしてまいりました。この間の活動を通じて把握している住民の要望や不安を踏まえて、現時点での被災者への支援等について次のとおり申し入れます。

記

1. 衛生体制の強化に努めること。浸水家屋の消毒の要望に応える体制を強め乾いた箇所から順次実施できるようにすること。
2. 被災者の総合的な相談窓口を設置するとともに、罹災証明などの手続き等の緊急の生活支援金等を給付すること。被災した住宅および生活再建のために市として独自の支援措置を講じること。
3. 被災者（とりわけ高齢者、独居老人、既往症を持つ方）への訪問活動を引き続きおこない、命と健康を守るために積極的に支援を請じること。
4. 床上・床下浸水による家電や家具などの粗大ごみの収集は、震災救援の一環として収集の体制をとること。
5. 馬橋地区では、畑の浸水により、来年に向けて撒いた種がダメになる等の被害が起きているため、必要な支援や対策を講じること。

以上